

事業所自己評価シート

令和 4 年度

職員による自己評価

A 環境・体制整備

- ① 狭いスペースであるが、活動や子どもの相性によって部屋を分けたり、外活動で分散している。
- ② 日により職員配置が少ない事があるが、見守りや把握しやすい活動で補っている。集団の方は都度人員を補う努力はしているが足りていない。
- ③ 階段の手すりはあるが暗く、狭く、急で危険。車椅子対応の設備が欲しい、スロープ等。

B 業務改善等

- ① 保護者様との話し合い、情報共有を強化する
- ② 業務処理方法の見直し改善と無駄の排除。職員研修の機会がまだまだ少ない。

C 児童への適切な支援の提供

- ① 適切なアセスメント力の向上、強化を行う。
- ② 個別目標に沿った個々に応じた活動が少ない。集団より目標に合った個別活動が良いと感じる。
- ③ 支援開始前、終了後の職員間打合せは時間が足りず、深くは出来ていない。
- ④ 定期的モニタリングは、本人の変化に応じた細かな計画見直しが不足している。。

D 保護者様、関係機関との連携

- ① 保護者会等の再開で保護者支援を強化する。
- ② 計画相談所、行政機関、学校、他の放デイサービス等関係機関との連携を強化する。
- ③ 療育センター、発達支援センター等専門機関との連携を増やし、助言、研修等の機会を持つ。

D 保護者への説明責任と非常時対応

- ① 親睦会等を通して保護者同士の連携を支援する。
- ② いっぱい通信、ブログ等で情報発信力を高める。
- ③ マニュアルの整備等によりリスク管理の強化。
- ④ 形だけの避難訓練でなく、有事に動ける体制作り
- ⑤ 虐待防止活動の周知徹底と身体拘束の範囲規定等、整備を図る。

保護者による評価

A 環境・体制整備

- ① 老朽化建物を考慮した安全確保とバリアフリー等安全対策の改善。
- ② 二階急階段の転落等危険防止の対策。

B 児童への適切な支援の提供

- ① 屋外活動、体を動かす機会の継続強化。
- ② コロナ禍で難しかった外食経験、施設見学等の再開。
- ③ 子供の得意面や課題に気づき、サポートする日々支援に感謝。

C 保護者への説明等、事業所からの情報発信等


- ① ブログ発信、連絡帳、いっぱい通信等での日々情報発信を評価している。
- ② 面談は丁寧に時間をとって頂き有難い。
- ③ 親睦会、保護者同士の交流の場、卒業後の交流機会等の再開を実現して欲しい。
- ④ 利用日、出欠席連絡のネットワーク化を。

D 非常対応等の対応

- ① 防犯・避難訓練マニュアル、感染症対応マニュアルを整備し、見られるようにして欲しい。
- ② 緊急時対応（災害時の受け渡し）マニュアルの確認と周知を。
- ③ 子供達の避難訓練は今後も継続して欲しい。

E 満足度

- ① 毎回楽しみにしている。スタッフ、お友達、みんな大好きと言っている。次はいつ行けるの？とよく聞いて楽しみにしている。
- ② スタッフの皆さんの暖かい声掛けや配慮、細やかな支援に感謝しています。



事業所内での分析

【共通点】

- ① 屋外活動に一定の評価と賛同。日常の生活リズム、体力健康増進に必要な共通認識があります。
- ② 子ども達の個性と能力に気づき、高める一層の支援力向上を保護者は期待している。
- ③ 事業所の活動内容等の情報発信力を更に高めることへの期待が大きい。
- ④ 保護者様との交流機会の場の再開期待が高い。親睦会等の再開を具体的に検討し実現する。
- ⑤ 安心・安全を第一優先とした事業所の環境整備、危険防止活動を着実に実施して欲しい。
- ⑥ コロナ禍、感染症の影響は今後も継続する事を前提として活動を考え、実施することが肝要です。

【相違点】

- ① 感染症対応、災害時の緊急対応等安全面での期待感が高い反面、対応マニュアル等の整備、有事を想定した実践的訓練等の見直しが急務である。
- ② 保護者様への情報発信の強化、保護者様との交流・支援・連携の場作りを検討し再開する。
- ③ 支援の質を高める人材確保と計画的な職員研修等による人材育成を長期的視野で継続して行う。
- ④ 業務見直しによる無駄排除と効率化の推進、達成のための業務アプリ等の導入検討を図る。
- ⑤ 計画相談事業所、行政等との連携強化、学校、療育センター、発達支援センター等専門機関との連携機会の拡大を積極的に図る。地域交流の機会を積極的に企画する。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- A 放課後等デイサービスの草分け、制度化以前からの長い支援実績を持った職員が多く、子ども達の成長変化、対応等に優れている。
- B 小学低学年からの長い利用で保護者様との関係性が深められ、課題等の情報共有を高め、連携した深い支援が出来ている。
- C 経験豊かな児童指導員等職員を厚く配置しており、子ども達への支援の人員配置比率が高くきめ細かな支援サービスの提供が出来ている。
- D 長い運営実績の中で、関係機関との支援連携体制が出来ており質の高い広範な支援が可能である。
- E 長い経験から、送迎体制と送迎方法等のノウハウを培い、質の高い送迎が出来ている。

事業所の改善点

- A 老朽化施設で、安心・安全を優先した設備面を含めたハード的な環境整備、バリアフリー対策、ソフト面の危険防止対策が必要。
- B 緊急対応等のマニュアル整備及び有事の際、確実に活動できる日頃の防災訓練の実施
- C 支援の質的向上強化のための継続した計画的、体系的な職員教育・研修機会の充実。
- D 専門知識、資格等を持った有資格者の効果的な活用と戦略的獲得。
- E 世代交代も視野に入れた若手職員の計画的育成と採用。
- F 日報等記録業務の無駄の効率化、及び記録業務を含めた事務効率アプリの導入検討。
- G 情報発信力の強化を目指した情報ネットワーク強化の検討と改善。
- H 保護者様との交流機会の再開と継続。

事業所の改善への取り組み

事業所の強みを最大限に生かしながら、事業所運営の戦略的改善を確実に根気よく取り組んでまいります。

- A ご利用者の安心・安全を第一優先に、常に意識して危険の先取りと予期を絶やさず、ハード的な環境整備とソフト的な改善を全職員で行います。
- B 虐待・拘束防止対応、BCP作成、緊急時対応マニュアル類の整備を進め、併せて、有事の際、確実に活動できる避難訓練等の実施と習得を定期的に行います。
- C 長年培った支援ノウハウを更に向上しながら利用児童、保護者様への支援力強化と保護者様との情報共有の強化を図り、日々の活動での支援連携を高めます。
- D 支援の質的向上を図る人材育成と獲得並びに専門知識、資格を保有した人材の有効活用を計画的に進めます。事業の世代交代を考えた若返りを戦略的に進めます。
- E 記録等毎日の業務の見直し、無駄排除等の業務改善を進めます。又、改善、効率化のための業務アプリ等の導入検討を進めます。
- F コロナ禍で中断していた保護者様との交流会、親睦会等を再開し継続します。それらを通じ、保護者様同士の連携の広がりを支援してまいります。
- G 保護者様、外部への情報発信力を強化します。「いっぱい」の理解者、ファンを増やすための情報提供、外部との連携活動を積極的に進めます。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

コロナ禍での支援活動の環境変化、同業放デイ事業所の急激な増加による競争の激化、発達障害個別級児童の利用拡大による支援環境の変化等々、事業を取り巻く環境が激変しています。自己評価の再分析によりこれらの変化が一層明確になると共に、自分たちの強みを最大に生かした差別化戦略の強力推進が、これらの変化に打ち勝ち、継続できる実力、老舗としての自信とプライドを改めて強く意識しています。

事業所名 いっぱい 放課後等デイサービス
担当者 管理者 鈴木葉子、統括 竹下 惇